

2021年7月18日(第3主日)



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

映像・音響：郭永東牧師

前奏
頌栄
主の祈り

540

プレイズ
「心から」
「still 静まって知れ」

聖書朗読

祈禱
賛美

527

メッセージ

祈禱
賛美

新生14

献金祈禱

報告

頌栄
祝福

新生672b

会衆
会衆

会衆

司会

司会

会衆

牧師

牧師

会衆

司会

会衆

牧師

<巻頭言>

「祈りは力」

牧師 渡真利彦文

教会は今週から2年目の祈りに入ります。それは週報裏表紙に掲載の祈禱課題が1年を終えたのです。最初は2020年7月19日のスタートでした。祈禱部の提案で始まり、祈りの課題を教会全体で共有したいとの願いから誕生しました。胡屋教会の共同体の一人として祈れたのでしょうか。今日の教会の弱いところは、「祈れない、祈らない」と言えるかもしれません。

祈りは力です。祈りは奇跡を起こします。聖書が心のご飯であるなら、祈りは「呼吸」のようなものです。ご飯を食べなくて、呼吸をしなければ、人間は確実に死にます。弱ります。ですから、この世には、力のないクリスチャン、いきいきとして輝いていないクリスチャンが大勢いるのです。聖書を読むことと祈ることを再開しただけでも大きな力となるでしょう。

ではどのように祈ったらよいのでしょうか。まず「父なる神様への呼びかけ」、「感謝を捧げます」、「幼子のような気持ちで悔い改めます」、「願いごと、心に沸いてくる思いを祈ります」、最後は「とりなし」、他者のことを自分のことのように祈ります。最後の締めは「イエス様のお名前によって祈ります。アーメン」と祈るのです。「アーメン」とは、「本当です。真実です。」の意味が込められています。

個人で祈ることも大事ですが、教会の共同体として祈ることも大事です。水曜日の朝のおちぼの会、夜の祈禱会、火～土の早天祈禱会などへの参加も祝福となります。

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

聖書：列王記上19：1-9(旧約聖書 p565)

メッセージ：「静かにささやく声」

プレイズ：「鹿のように」「目を上げよ」

賛美：新生520 新生553

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

司会：渡真利千佳子姉

聖書：ヤコブ3：13～18

メッセージ：「上から出た知恵」